

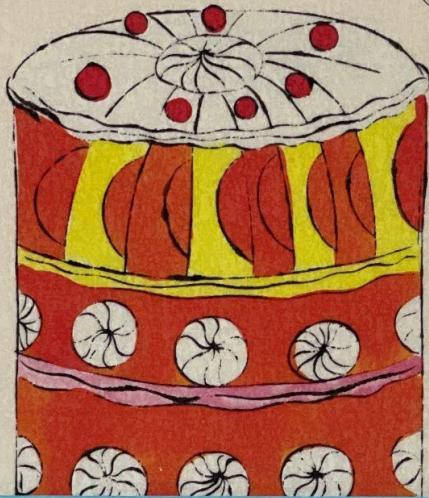
「スイート・ホーム」の魅力は、物語に出てくる登場人物たちの心情が変化していくところだ。

この本の中心となる香田家は、町でも評判の洋菓子店だ。香田家の長女、香田陽皆は、家の手伝いをしながら、デパートの中にある雑貨店で働いていた。そこの大物販店に、毎週金曜日に陽菜と同じぐらいの年齢の男性が来るようになつた。男性は、いつも女性へのプレゼントを買いにきていた。そしてだんだん話をしていくうちに、陽皆は、男性のことを好きになつていて。だが陽皆は、その男性には彼女がいると思っていた。だから、男性に気持ちを伝えたら迷惑だろうと気持ちを伝えないようにしていった。だが、あることがきっかけで、彼に気持ちを伝えようと決心した。そして、金曜日に、手作りのケーキを持って彼が来るのが待つていた。だが、閉店時間になつても彼が現れることはなかつた。

さて、陽皆は、彼に気持ちを伝えることができるのでどうか。続きが気になる人は、ぜひ、手に取って読んでみてほしい。

スイート・ホーム

SWEET HOME ♦ MAHA HARADA



原田マハ